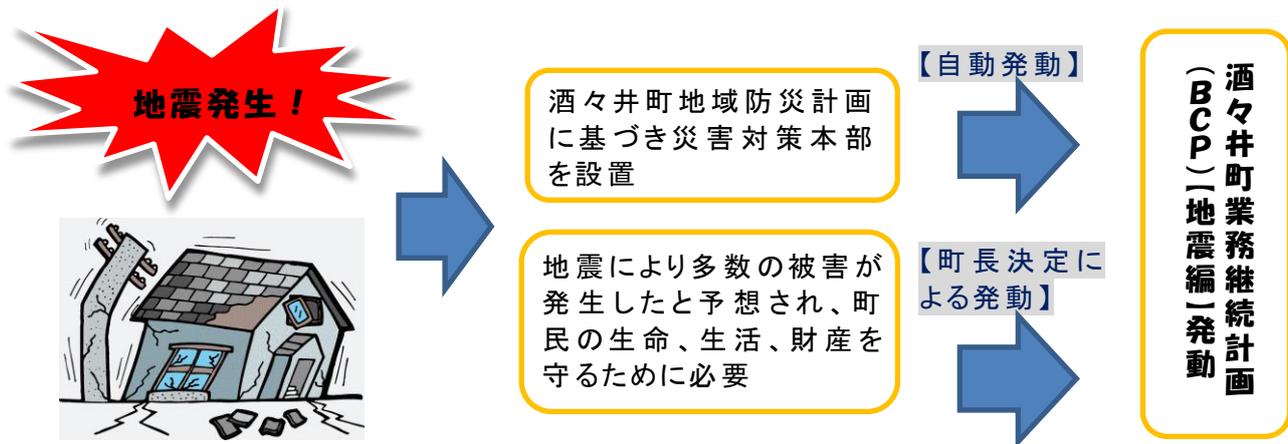


報告 1 酒々井町業務継続計画（BCP）の導入について

平成27年9月1日

酒々井町業務継続計画 を策定

業務継続計画とは、災害時に行政自らも被災し、人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、最優先に実施すべき業務を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画です。



この計画は、町の地域防災計画を補完し又は相まって、町役場自身が被災し、資源制約が伴う条件下においても非常時優先業務の実施を確保するものです。

具体的には、地域防災計画では、必ずしも明らかでなかった「行政も被災する深刻な事態」も考慮した非常時優先業務の執行体制や対応手順が明確となり、非常時優先業務の執行に必要な資源の確保が図られることで、災害発生直後の混乱で行政が機能不全になることを避け、早期により多くの業務を実施できるようになります。

◎ 基本方針

1. 実効性の確保

発災時、真に実効性のある計画とするため、時系列（発災後3時間、12時間、24時間、48時間、72時間）で定めます。

2. 堅実な計画

町が保有、又は調達可能な資源を明らかにし、発災時やその後に実施できる継続業務範囲を明確にします。

- ・人員…発災時、参集できる人員数と業務量の適合
- ・業務…発災時、実施すべき優先業務の抽出と順位化
- ・資源…業務資源の事前対策及び発災時の機能把握・強化

3. 事前対策の重視

事前対策に重点を置き、継続的に発災時の被害軽減を図ります。

報告2 酒々井町プレミアム付商品券について

酒々井町プレミアム付商品券の販売につきましては、多くの町民の皆様にご不快な思いを与えてしまったことを町は商工会とともに深く反省し、この場をお借りして重ねてお詫び申し上げますとともに、今回の事例を教訓とし、今後の町政運営に活かして参りたいと考えております。

販売方法に関して、商工会窓口の1カ所のみでの直接販売したこと、さらには「同居のご家族分をお一人で購入できます」としたことで、販売当日の窓口での混乱に加え、整理券を異なる時間に配布したため行列に並んだのに買えなかった、虚偽の名前を記載して購入した方がいる等のお叱りをいただいております。

このような状況を踏まえ、町としても7月に庁内に検証委員会を設置し、独自に問題点等の検証作業を進めてきたところですが、検証の結果としましては、補助事業ということで、事業の実施方法等の協議に当たって商工会の自主性を尊重し、的確な指導を行うことができなかったこと、また、当然予想される混乱を避けることができなかったリスク管理の甘さに根本的な問題があったのではないかと結論を達しております。

なお、現在、低所得者の子育て支援対策として、児童扶養手当受給者、準要保護認定者、18歳以下の子どもがいる生活保護受給者の方に対しまして、経済環境課において5,000円分のプレミアム付商品券を配布しておりますので、事務処理に遺漏のないよう努めてまいります。

報告3 酒々井ちびっこ天国夏季プール事業の運営について



入園者数54,404人

酒々井ちびっこ天国の本年度のプール事業につきましては、夏休み前の7月11日、12日先行してプレオープンし、夏休みが始まる7月18日から8月31日までの47日間のうち、天候不良による休園が8日、途中休園1日を含め、39日の開園でした。



ちびっこスライダープール



リニューアルした流水プール

入園者数は、開園期間前半は猛暑により順調に推移し、後半は台風の影響による天候不順が続きましたが、昨年度を6,852人上回る5万4,404人となりました。

なお、本年度は流水プール及びちびっこスライダープールの全面塗装によるリニューアルにより、お客様からは好評の声が寄せられました。

また、開園期間中は、大きな事故等もなく良好な運営が実施されました。

報告4 酒々井南部地区の状況について

酒々井インターチェンジのアクセス道路に関する町の事業が全て完了しました。



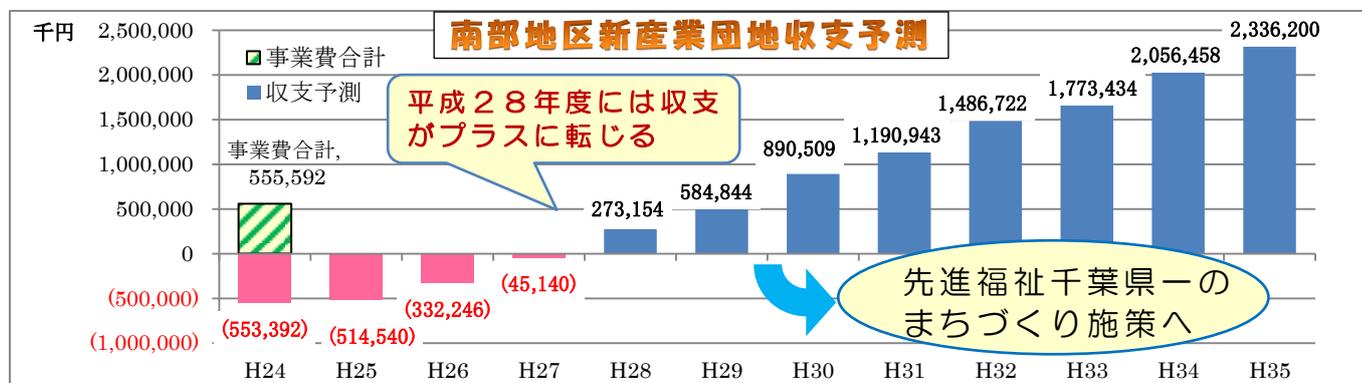
酒々井インターチェンジにつきましては、皆様ご承知の通り、平成25年4月10日に開通しておりますが、関連工事である調整池等の工事が平成26年度末に竣工し、このことにより酒々井インターチェンジアkses道路事業の町の事業につきましては、全て完了しました。

活力あるまちづくりを推進するため、町の核となる酒々井インターチェンジの開通に併せて、平成18年度から国の助成制度の「まちづくり交付金」及び「社会資本整備総合交付金事業」を活用すると共に千葉県をはじめ、道路を占用する公益事業者に対応の負担を求め、その結果、町は最小の負担で整備することができました。

南部地区関連総事業費		1,659,381
(内訳)	国費	398,025
	県及び公益事業者負担金	569,000
	UR負担分	136,764
町の実質負担額		555,592
(内訳)	一般財源	190,092
	地方債	365,500

次に、当該地区の税収の見込みについてですが、法人町民税、固定資産税・都市計画税では、平成27年度決算見込額で約2億8,700万円、平成28年度は3億円強となり、今後変動はありますが同額程度が見込まれる状況です。

そのようなことから、町負担分の5億5,559万2千円につきましては、平成28年度で回収できる見込みとなっておりますので、以降の税収については、「先進福祉千葉県一のまちづくり」の施策など、更に進めてまいりたいと考えております。



最後に、土地利用につきましては、本年の12月上旬には温浴施設が、平成28年4月下旬には道の駅と同様のレストラン、カフェを併設した農産物販売等の施設が開業することになっております。今後も、南部地区においては、酒々井プレミアム・アウトレットを核として、未利用地への企業誘致を進め、更なる税収を期待しているところであります。